

### 桃猿図(部分)

森狙仙筆 大阪歴史博物館蔵

「よいしょ!!」と大きな桃を抱える猿を描いています。「猿描き狙仙」の真髓ともいえる細やかに描かれた猿の毛並みが見どころです。猿は立身出世、桃は不老長寿の象徴ともされており、お目出度い図柄でもあります。



### 蝦蟇仙人図

がま せん にん  
森周峰筆 個人蔵

狙仙の次兄、周峰の描いた蝦蟇仙人の図です。仙人に頭を抑えられた蝦蟇は、不思議な気を吐き、その表情はおかしみを感じさせます。

### 蝦蟇図(部分)

松本奉時筆 個人蔵

大坂の表具師松本奉時の手になる蝦蟇図です。奉時は、声の良い蛙の飼育や蛙の干物にいたるまで、さまざまなカエルを愛し集めました。墨で勢よく描いた蝦蟇図を得意としました。



### 茶師の地獄(地獄図巻より)(部分)

耳鳥齋(にちょうさい)筆 大阪歴史博物館蔵

大坂の耳鳥齋は、人の姿を面白おかしく描いた戯画で人気を得ました。この絵巻では、さまざまな職業の者が落ちる地獄をユーモラスに描いています。「茶師の地獄」では羽織を着た鬼が、亡者で作った茶釜や茶碗を使って茶をたてる様子が表されています。



## 関連行事

### (1) 講演会「大坂森派の写生画—円山応挙絵画の展開」

日時: 3月8日(日)午後1時30分~3時(受付は午後1時から)

講師: 冷泉為人氏

(公益財団法人冷泉家時雨亭文庫 理事長 京都美術工芸大学 学長)

会場: 大阪歴史博物館 4階 講堂

定員: 250名(当日先着順)

参加費: 300円(特別展の観覧券もしくは半券提示の方は無料)

### (3) サルの日・トリの日割

会期中の下記の日(「申(さる)の日」「酉(とり)の日」)に、ご自慢の動物グッズ(雑貨や写真など)をご持参・ご提示いただいた方は、特別展観覧料(常設展との共通券を含む)が団体割引料金となります。

※申の日3/6(金)、3/18(水)、3/30(月)・酉の日3/7(土)、3/19(木)

### (2) 学芸員によるギャラリートーク

日時: ①2月28日(金)午後6時30分~7時

②3月14日(土)午後2時~2時30分

③3月22日(日)午後2時~2時30分

担当: 岩佐伸一(当館学芸員)

会場: 大阪歴史博物館 6階 特別展示室

参加費: 無料(ただし、入場には特別展観覧券が必要)

参加方法: 直接会場へお越しください。

### (4) 動物おみくじ

特別展に有料でご入場いただいた方に、会期中毎日先着100名様限定で進呈。

## 学芸員のおススメコレクション

### 大阪市立東洋陶磁美術館 国宝「油滴天目茶碗」

中国南宋時代の建窯産「油滴天目茶碗」の最高峰です。油の滴状の銀色に輝く斑文と青色や金色などの光彩が幻想的な美しさを見せています。豊臣秀次が所持し、のち西本願寺、京都三井家、若狭酒井家に伝来したと伝えられています。現在開催中の特集展「受贈記念 木村盛康・天目のきらめき」では京都在住の天目の作家・木村盛康氏(1935-)の独自の天目作品25点を紹介しています。木村氏が天目の道に本格的に入るきっかけとなったのが若い頃に会ったこの国宝の油滴天目茶碗でした。国宝は新たな創作にも大きな影響力をもっています。(大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理 小林仁)

特別展「竹工芸名品展: ニューヨークのアビー・コレクション—メトロポリタン美術館所蔵」

【特集展】「受贈記念 木村盛康—天目のきらめき」、【平常展】中国陶磁、韓国陶磁、鼻煙壺(開催中~4/12まで)

大阪市立東洋陶磁美術館 ●所在地 〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26 ●TEL 06-6223-0055 ●FAX 06-6223-0057 ●アクセス 京阪中之島線「なにわ橋駅」1号出口すぐ、大阪メトロ京阪本線「淀屋橋駅」1号出口、「北浜駅」26号出口各駅から約400m ●ホームページ <http://www.mocco.or.jp>



国宝「油滴天目茶碗」  
大阪市立東洋陶磁美術館蔵  
(撮影: 西川茂)

大阪市立の博物館・美術館・動物園  
**Osaka Museums**  
<https://ocm.osaka>



大阪市立科学館

大阪市立美術館

天王寺動物園

大阪城天守閣

大阪市立東洋陶磁美術館

大阪歴史博物館

大阪中之島美術館準備室

大阪市立自然史博物館

大阪くらしの今昔館

大阪市文化財協会